

ピースポート災害ボランティアセンター 2014年8月兵庫県丹波市集中豪雨 活動レポート

作成:2014/9/30

今回支援を行った丹波市は兵庫県の東部に位置し、2004年に6町が集まり作られた人口6万7千人の都市です。今回8月17日の集中豪雨によって住家被害は全壊17、大規模半壊8、半壊39、一部損壊1、床上140、床下723と甚大なる被害が発生しました。しかし同日隣接する京都府福知山市も昨年に続く広範囲への被害が発生した為、マスコミによる報道は福知山市を中心に取り上げられていました。

8月22日、PBVでは現地入りしていた震つな会員団体のレスキューストックヤードや、震災がつなぐ全国ネットワーク事務局からの情報を元に兵庫県丹波市へ先遣スタッフを派遣し、被害状況や災害ボランティアの支援状況を調査しました。被害は同市内の市島町地域に7~8割ほど集中しており、また土砂崩れによる被害も甚大で、家は押し流されたり、敷地全体が1m以上の土砂で覆われている家屋も見受けられました。



現地の丹波市災害ボランティアセンター(以下:災害VC)は市中心部のJR黒井駅付近に開設され、被害のあった市島町地区には活動拠点であるサテライトが設置されました。災害の影響で渋滞も発生していたことからボランティアは災害VCに集合し、サテライトまではシャトルバスに乗り活動現場へ移動していました。運営は地元社協を中心に、県内からの応援社協スタッフが20名程度応援に入ると共に、地元の災害ボランティアネット丹(まごころ)が担っていました。同災害VCではニーズ把握やマッチング、現場の活動コーディネートにいたるまで自治会長を中心として行われており、社協VC運営の負担が減る一方、ボランティア全体の活動状況を把握できない状況も発生しました。



PBVでは丹波市社協からの要請の元、サテライト運営のサポートを実施。8月24日~9月7日の間、市島サテライトを中心にニーズ調査などのノウハウ提供やサテライト運営業務のサポートを行いました。また活動現場のボランティアコーディネートを担うスタッフ3名、ボランティアリーダー2名を派遣し、のべ67名で活動を実施しました。一日1000名を越えるボランティアの受入も、日本財団やレスキューストックヤードのスタッフ、地元団体の丹(まごころ)と協力しあい活動を行いました。



今回の支援には東京海上日動火災保険株式会社「Shere Happiness 倶楽部」様からの災害対応費をはじめ、震災がつなぐ全国ネットワーク事務局より活動費の助成、多くの個人の皆様からのご寄付を頂きました。
また丹波市社会福祉協議会の協力の丹波市より「ライフピアいちじま」を宿泊場所として提供頂くと共に、丹波市、民間団体から多くのご協力を頂きました。現地で共に活動を行った兵庫県内の社会福祉協議会職員やレスキューストックヤード、多くのボランティアの皆さまに支えられた支援となりました。まことにありがとうございました。